



ムツムツ とことん

大仙市立太田中学校
令和3年4月14日
NO. 9



うららかに たくましく ～耕し 萌えたち みのらせ さきみだる～

歓迎の舞～太中よさこい～



どんなところにも置かれても花を咲かせる心を持ち続けよう
境遇を選ぶことはできないが、生き方を選ぶことはできる
「現在」というかけがえのない時間を精一杯生きよう

(渡辺和子 『置かれた場所で咲きなさい』より)

先輩と後輩の関わり方も学びの一つ

昨年度、四つの小学校の最高学年として過ごしてきた子どもたちも、太田中学校に入学し、先輩に囲まれての生活が始まり5日が経過しました。本校では、先輩後輩の縦の関係もとても大切なことと考えており、仲良く過ごすことはもちろんですが、先輩には先頭に立って後輩を導く役割を任せ、1年生には礼節をもって接するよう教えていきたいと思っています。これも、将来社会に出て人間関係を形成したり社会形成のために役立つ学びの一つです。

そこで、1年生に、「太田中の生徒会組織の仕組みや役割について理解してもらい、太中生全員が生徒会の一員であることを自覚し、全校一丸となって積極的に生徒会活動に向かっていく意識を高める」ことをねらいとして、昨日4月12日(月)の6校時に生徒会入会式を行いました。



入会式は、生徒会長の高階冨さんのあいさつ、生

徒会執行部の紹介に続き、スライドを使って太田中学生徒会活動とJRC活動について詳しく説明があり、専門委員長、キャプテンが専門委員会、部活動について紹介しました。

そして、休憩を挟んで、2・3年生の舞「太中よさこい」で1年生の入会を歓迎しました。1年生は、この後練習することになる舞に迫力を感じながら、食い入るように見ていました。先輩の後輩を思う丁寧な説明や振るまいと、真剣に聞く1年生の態度に『よりよい太中 居心地のよい太中』をつくっていかうとする意気込みを感じ、とてもうれしく思いました。



最近また新型コロナウイルスの感染が拡大してきており、当たり前に行われてきたことができないもどかしさを感じていますが、その中で、できることに最善を尽くしてほしいという気持ちで、渡辺和子さんのベストセラー「置かれた場所で咲きなさい」の一節を歓迎の舞の画像にかぶせて紹介しました。太中生全員が、輝くダイヤモンドになるべく、「どんな場所でも花を咲かせる気持ちを持ち続け、今を精一杯生きていく中で自分磨き、幸せを見つけてほしい」と願いを強くした生徒会入会式でした。